

地域生活支援拠点等に係る運営規定の記載例

地域生活支援拠点等の機能を担う事業所として届出を行う際は、以下の内容を参考に運営規程への追加項目を作成してください。

運営規定の記載例	作成に当たっての留意事項
<p>第〇〇条 事業者は、「障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針（平成18年厚生労働省告示第395号）第一の二の3」に規定する地域生活支援拠点等として次の機能を担う。</p> <p>(1) 相談 緊急時に支援を見込めない世帯を事前に把握・登録した上で、連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に必要なサービスコーディネートや相談、その他必要な支援を行う機能</p> <p>(2) 緊急時の受け入れ・対応 短期入所等を活用した緊急時の受入体制等を確保した上で、介護者の急病や障害者の状態変化等の緊急時の受け入れや医療機関への連絡等必要な対応を行う機能</p> <p>(3) 体験の機会・場の提供 地域移行支援や親元からの自立等に当たって、共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場を提供する機能</p> <p>(4) 専門的人材の確保・養成 医療的ケアが必要な者や行動障害を有する者、高齢化に伴い重度化した障害者などに対し、専門的な対応の体制確保や専門的な対応ができる人材の養成を行う機能</p> <p>(5) 地域の体制づくり 地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や、地域の社会資源の連携体制の構築等を行う機能</p>	<p>○各事業者の実態に応じて、(1)～(5)のうち実際に担う機能を記載してください。</p> <p>○左記に示した運営規定は記載例であり、各事業者の実態に応じた規定とし、地域生活支援拠点等についての内容をご理解いただいた上で作成をお願いします。</p>